

オプトアウト用情報公開文書 1（単施設研究）

1. 研究課題名	MASLD患者における肝亜鉛トランスポーター（ZnT1）発現と線維化・代謝指標との関連に関する後方視的研究
2. 研究の対象	2015 年 1 月～2025 年 6 月に当院で MASLD の診断のために肝生検を受けた方
3. 研究目的・方法	【目的】 本研究は、代謝機能障害関連脂肪性肝疾患（MASLD）の患者さんの肝生検組織を用いて、肝臓内での亜鉛輸送に関与するタンパク質「ZnT1（ジンクトランスポーター1）」の発現を調べ、その発現が肝線維化の程度や血液検査の値とどのように関係しているかを明らかにすることを目的としています。将来的には、MASLDの重症度や進行リスクの評価に役立つ新たな指標の開発につながる可能性があります。 【方法】 当院で肝生検を受けられた MASLD 患者さんの保存組織および診療記録（年齢・性別・身長体重・血液検査・画像検査・治療歴・経過情報など）を用いて、臨床情報と ZnT1 の発現との関連を統計的に解析します 【期間】施設承認～2030 年 3 月 31 日（■延長の可能性あり）
4. 研究に用いる試料・情報の種類	本研究では、過去に診療の一環として実施された肝生検検査の際に採取された肝臓組織の一部（パラフィン包埋標本）および、診療記録から得られる臨床情報（以下）を使用します。 使用する情報は以下のとおりです： - 年齢、性別、身長、体重、既往歴・合併症などの基本情報 - 肝機能、脂質、糖代謝、栄養、腎機能、亜鉛・銅などの血液検査データ - 超音波、MRI、CT などによる画像検査データ（肝線維化や脂肪化の評価） - 肝生検組織の病理学的所見（脂肪肝の程度、炎症、線維化の進展など） - 肝生検組織を用いた ZnT1 の免疫染色データ - 経過中の治療歴（薬剤）、追跡期間、発癌や転帰などの経過情報 これらの情報はすべて匿名化され、個人を特定できないよう適切に管理されます。新たな採血や受診は一切必要ありません。 試料：肝生検組織
5. お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産

	の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、<u>2029 年 3 月 31 日までに</u>下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 市立貝塚病院 <u>消化器内科・垣田成庸</u> 〒597-0015 大阪府貝塚市堀 3 丁目 10 番 20 号 TEL:072-422-5865 FAX:072-439-6061 研究責任者：垣田成庸
--	---